

## 活動報告

### 事業推進担当者の研究業績

#### 国際学会での発表数

(単位：回)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
発表件数 (基調講演・招待講演含む)	102	91	41	90

#### 教員の論文発表数

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
論文投稿数(5専攻計)	236	258	298	326
	(149)	(194)	(154)	(168)
上記 IF数(5専攻計)	658.247	667.233	795.832	888.555

(カッコ内は事業推進担当者がファーストオーサーまたは代表者となっているもの)

#### 他大学・企業等との共同研究実績

(単位：件)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
共同研究件数	89	218	241	255

#### 本事業で得られた成果に係わる知的財産権の出願状況

(単位：件)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
特許出願数	7	16	18	7(2)

(カッコ内は特許権の取得件数)

#### 本拠点が主催・共催・協賛した研究集会の開催状況

(単位：回、人)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
開催回数	23	23	25	26
参加者数	5,200	3,948	4,823	5,081

## 活動報告

### 若手研究者・大学院学生の育成

#### リサーチ・アシスタント(RA)およびティーチング・アシスタント(TA)の採択者数

(単位：人)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
RA採択者数	25	22	22	22	19
TA採択者数	25	25	25	17	21

#### 若手研究者への支援

(単位：人)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
研究費支援者数	16	16	13	13	11
海外発表旅費支援者数	15	16	17	22	14

#### 海外研修プログラム参加者数

(単位：人)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
オハイオ州立大学	10	8	6	7	6
ニュージャージー医科歯科大学	0	4	4	2	2

#### 大学院学生の学会および論文発表数

(単位：回)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
学会発表件数	133	130	135	155
	(39)	(42)	(44)	(51)
論文発表件数	71	95	90	138

(カッコ内は外国で開催された国際学会での発表件数)

#### 日本学術振興会特別研究員奨励費の獲得状況

(単位：人、千円)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
採択者数	2	5	7	8	6
科学研究費補助金 (特別研究員奨励費)	1,800	3,300	5,500	5,600	4,200



## 活動報告

### 事業推進担当者・若手研究者の受賞等

#### 事業推進担当者の受賞

##### 平成19年度(2007 - 2008年)

- 今井康之：日本薬学会(第128年会)「講演ハイライト」  
「経鼻投与リポソームを用いたベロ毒素に対する腸管内分泌型IgA産生の誘導」
- 横越英彦：茶学術研究会「茶学術研究顕彰受賞」

##### 平成20年度(2008 - 2009年)

- 熊谷裕通：第9回味の素ファルマAward
- 横越英彦：世界緑茶協会O-CHAバイオニア賞顕彰

##### 平成21年度(2009 - 2010年)

- 山田静雄：第16回日本排尿機能学会「平成21年度日本排尿機能学会賞(基礎部門・論文部門)」
- 源川博久(GCOEポスドク), 武田厚司, 横越英彦：第156回日本農芸化学会中部支部例会「中部支部維持会員賞」  
「緑茶成分テアニンによるラットの記憶・学習能に及ぼす影響」
- 菅谷純子：第82回日本生化学会大会「優秀プレゼンテーション賞」  
「CDK2シグナル伝達系を介した薬物代謝酵素CYP2B6、UGT1A1発現調節機序の解明」
- 奥 直人：American Oil Chemists' Society 「Best Paper Award」
- 熊谷裕通：静岡県知事功労表彰

##### 平成22年度(2010 - 2011年)

- 下位香代子, 中山 勉, 大橋典男：日本農芸化学会「BBB論文賞」  
「Proteomic identification of serum proteins associated with stress-induced gastric ulcers in fasted rats」

##### 平成23年度(2011 - 2012年)

- 豊岡利正：クロマトグラフィー科学会「2011年度学会賞」
- 伊勢村護：American Chemical Society (ACS Publications)「Certificate of Appreciation」

#### 若手研究者の受賞

##### 平成19年度(2007 - 2008年)

- 丸山修治(薬学研究科博士後期課程3年)  
第14回日本排尿機能学会「河邊賞」

##### 平成20年度(2008 - 2009年)

- 小泉靖明(薬学研究科博士後期課程3年)  
モレキュラーキラリティー2008「最優秀ポスター賞」
- 伴野 勤(生活健康科学研究科博士後期課程3年)  
Lipid Peroxidation 2008 「Young Investigator Award」
- 森 大気(生活健康科学研究科博士後期課程2年)  
第153回日本農芸化学会中部支部例会「維持会員賞」

##### 平成21年度(2009 - 2010年)

- 小山直己(生活健康科学研究科博士後期課程3年)  
第38回日本環境変異原学会「ポスター賞」
- 頼 盈伶(生活健康科学研究科博士後期課程3年)  
第62回日本酸化ストレス学会「優秀演題賞」
- 山田建太(生活健康科学研究科博士後期課程3年)  
第18回環境化学討論会「ナイスプレゼンテーション賞」
- 植草義徳(生活健康科学研究科博士後期課程3年)  
第14回日本フードファクター学会「Young Investigator Award」
- 鰐淵清史(薬学研究科博士後期課程2年)  
第2回HOPEミーティング参加

##### 平成22年度(2010 - 2011年)

- 定塚和彦(生活健康科学研究科博士後期課程2年)  
第16回バイオアッセイ「日本環境毒性学会研究発表会奨励賞」
- 石井貴之(薬学研究科博士後期課程1年)  
日本薬剤学会第25年会・永井財団大学院学生スカラシップ
- Suratsawadee Piyaviriyakul(薬学研究科博士後期課程3年)  
4<sup>th</sup> International Conference on OCHA Culture and Sciences(ICOS)「Outstanding Poster Award」
- 吉田篤史(薬学研究科博士後期課程1年)  
4<sup>th</sup> International Conference on OCHA Culture and Sciences(ICOS)「Outstanding Poster Award」
- 畑中剣太郎(GCOEポスドク)  
3<sup>rd</sup> International Conference on Health and Longevity Sciences(ICHALS)「Poster Award」
- Monira Pervin(生活健康科学研究科博士後期課程3年)  
3<sup>rd</sup> International Conference on Health and Longevity Sciences(ICHALS)「Poster Award」
- 加藤竜也(生活健康科学研究科博士後期課程2年)  
3<sup>rd</sup> International Conference on Health and Longevity Sciences(ICHALS)「Poster Award」
- Ahmad Aftab(GCOEポスドク)  
3<sup>rd</sup> International Conference on Health and Longevity Sciences(ICHALS)「Poster Award」
- 池内和忠(薬学研究科博士後期課程1年)  
有機合成協会「ポスター賞」
- 松本圭司(薬学研究科博士後期課程1年)  
第26回茶学術研究会「奨励賞(講演・発表の部)」

##### 平成23年度(2011 - 2012年)

- 石井貴之(薬学研究科博士後期課程2年)  
第27回日本DDS学会「優秀発表者賞」
- 井上聖哉(生活健康科学研究科博士後期課程1年)  
4<sup>th</sup> International Conference on Health and Longevity Sciences(ICHALS)「Poster Award」
- 川邊圭佑(薬学研究科博士後期課程1年)  
4<sup>th</sup> International Conference on Health and Longevity Sciences(ICHALS)「Poster Award」
- 猿渡隆佳(薬学研究科博士後期課程1年)  
4<sup>th</sup> International Conference on Health and Longevity Sciences(ICHALS)「Poster Award」
- 藤木定弘(薬学研究科博士後期課程3年)  
4<sup>th</sup> International Conference on Health and Longevity Sciences(ICHALS)「Poster Award」
- 吉田篤史(薬学研究科博士後期課程2年)  
第9回次世代を担う有機合成シンポジウム「優秀発表賞」
- 福島圭稜(薬学研究科博士後期課程1年)  
第10回次世代を担う若手ファーマ・バイオフォーラム2011「優秀発表賞」



## 活動報告

### 事業推進担当者による研究成果のメディア報道

#### 平成19年度(2007 - 2008年)

- 鈴木康夫：Sia2-6Gal への結合が優勢な新型ウイルス出現が危険(メディカルトリビューン, 2007年4月10日掲載)
- 鈴木康夫：鳥インフル国際会議・情報公開や連携、研究者らが訴え(Nikkei NET, 2008年1月23日掲載)
- 鈴木康夫：ヒト・ヒト感染を警戒(日本経済新聞, 2008年1月24日掲載)

#### 平成20年度(2008 - 2009年)

- 鈴木 隆：インフルエンザ、ウイルス増殖防止へ道、静岡県大が新手法説明(日経産業新聞, 2008年4月23日掲載)
- 鈴木 隆：インフルエンザ研究で県立大が成果(静岡朝日テレビ「とびっきり! 静岡」, 2008年4月23日放送)
- 鈴木 隆：インフルエンザ「ウイルス増殖」説明(読売新聞, 2008年4月24日掲載)
- 鈴木 隆：ウイルス増殖物質特定(中日新聞, 2008年5月3日掲載)
- 鈴木 隆：ウイルス増殖 仕組み説明(静岡新聞, 2008年5月6日掲載)
- 下位香代子：環境・社会的ストレスとその生体応答「肝臓の遺伝子タンパクが血中ストレスマーカーに変化」示唆(日本食糧新聞, 2008年5月16日掲載)
- 木苗直秀：「山葵 静岡・有東木から広がった」(読売新聞, 2008年5月20日掲載)
- 木苗直秀：未来をつくる大学の研究室「食品衛生学と薬学の融合」(ベネッセコーポレーション「VIEW21」, 2008年9月号掲載)
- 鈴木 隆：新型インフルで予防策 県立大で公開講演会(静岡新聞, 2008年12月1日掲載)
- 鈴木 隆：新型インフルエンザについて(テレビ静岡「特報! しずおか」, 2009年1月17日放送)
- 鈴木 隆：新型インフルエンザ特集(静岡第一テレビ「リアルタイムしずおか」, 2009年2月4日放送)
- 山田静雄：ノコギリヤシ果実エキス研究成果(静岡新聞, 中部経済新聞, 健康食品新聞に掲載, 2009年2月-3月掲載)

#### 平成21年度(2009 - 2010年)

- 鈴木康夫：新型インフルエンザの謎に挑むー「予防と監視の請負人」(読売新聞, 2009年4月3日掲載)
- 鈴木 隆：ウイルス増殖防ぐ物質発見 ソ連・香港、鳥インフルで効果(中日新聞, 2009年5月20日掲載)
- 鈴木康夫：やさい通信「糸井重里の明日のやさい」筋は曲げずに不滅です ～梅～ 梅肉エキスの抗インフルエンザ作用について(NHK総合, 2009年6月28日放送)
- 「健康長寿科学の最前線(静岡県立大学リポート)」(事業推進担当者、特任教員、大学院学生が出演し、本拠点の取り組みを紹介)(SBS TV, 2009年7月20日放送)
- 鈴木 隆：交雑で病原性変化も 過度の心配は不要(静岡新聞, 2009年9月7日掲載)
- 山田静雄, 伊藤由彦, 瀧 優子, 尾上誠良：ノコギリヤシー排尿障害改善の成分特定(日刊工業新聞, 2009年9月14日掲載)
- 鈴木 隆, 菅 敏幸：インフルにカテキンの力 感染抑制新化合物合成(静岡新聞, 2009年10月15日掲載)
- 鈴木 隆：緑茶うがいでインフル予防(産経新聞, 2009年12月25日掲載)

#### 平成22年度(2010 - 2011年)

- 横越英彦：朝ごはん食べていますか?(SBS静岡放送「朝だす!」, 2010年4月5日放送)
- 横越英彦：新茶のパワー(静岡朝日テレビ「とびっきり! 静岡」, 2010年4月22日放送)
- 横越英彦：ソーセージ開発 竹粉+地元産鶏肉(静岡新聞, 2010年4月23日掲載)
- 横越英彦：「カルピス酸乳」の摂取による記憶障害予防・記憶力向上効果を確認(日経プレスリリース, 2010年5月24日掲載)
- 小林裕和：植物の生産効率アップへ … 光受ける仕組み解明(静岡新聞, 2010年5月25日掲載)
- 横越英彦：カルピス、LH発酵乳摂取で記憶力の向上効果確認(日本食糧新聞, 2010年5月31日掲載)
- 横越英彦：マウス記憶障害 発酵乳で改善(日経産業新聞, 2010年6月3日掲載)
- 横越英彦：濃い味の菓子、次々登場…お得感、刺激で気分転換(読売新聞, 2010年7月10日掲載)
- 鈴木 隆：インフルエンザウイルス増殖阻害作用 緑茶成分に確認(静岡新聞, 2010年7月28日掲載)
- 横越英彦：食品業界大注目、売れるキーワード“濃厚”(TBSテレビ「Nク」, 2010年7月30日放送)
- 横越英彦：脂肪の旨味(日本テレビ「所さんの目がテン」, 2010年9月29日放送)
- 横越英彦：ハンバーガーの科学 ーなぜおいしい?安い市販のハンバーガー(日本テレビ「所さんの目がテン」, 2010年10月23日放送)
- 横越英彦：教えて!静岡の日本一(NHK静岡放送「たっぷり静岡」, 2010年10月27日放送)
- 鈴木 隆：スペイン風邪ウイルス 増殖を高めるタンパク質確認(中日新聞, 2010年12月8日掲載)
- 鈴木 隆：スペイン風邪ウイルス カモインフルとタンパク質類似(静岡新聞, 2010年12月9日掲載)
- 菅 敏幸：体内で光るカテキン合成成功(静岡新聞, 2011年1月10日掲載)
- 鈴木 隆：研究室ナビ「新型インフルエンザ 流行の指標探り、新薬開発めざす」(朝日新聞, 2011年1月19日掲載)
- 鈴木 隆：鳥インフルエンザ発生について(SBS静岡放送「イブニングeye」, 2011年1月27日放送)
- 鈴木康夫：高病原性鳥インフルエンザについて(NHK総合「はっとイブニング」, 2011年2月2日放送)
- 鈴木康夫：日本古来製法による梅肉エキスに含まれるムメフラールの多様な抗バンデミックインフルエンザウイルス効果の確認 ーウメエキスでインフル予防+菌抑制ー(産経新聞, 2011年2月16日掲載)
- 鈴木康夫：梅エキスでインフル予防(中日新聞, 2011年2月22日掲載)

#### 平成23年度(2011 - 2012年)

- 鈴木康夫：梅エキス、インフル予防、ウイルス増殖抑制の成分(読売新聞, 2011年4月5日掲載)
- 渡辺達夫：『研究室ナビ』肥満を防ぐ新たな成分探求(朝日新聞, 2011年5月18日掲載)
- 県立大大学院に「学府」薬食融合教育強化ー2012年度新設(静岡新聞, 中日新聞, 日経新聞, 2011年6月2日掲載)
- 渡辺達夫：トウガラシ 世界がしびれた辛さ戦略(NHK BSプレミアム「いのちドラマチック」, 2011年8月31日放送)
- 横越英彦：発酵乳がドーパミンの量を増やすことを確認(日経産業新聞, 2011年12月2日掲載)
- 横越英彦：飲んでも香りだけでも血流アップ(日経ヘルス, 12月号掲載)
- 村尾咲音, 陽東藍, 横越英彦：特集 香りで慢性疲労の予防と回復を図る「緑茶成分の抗疲労効果」(aromatopia, 110号掲載)
- 横越英彦：発酵乳で記憶力向上か 県立大との研究で確認(静岡新聞, 2011年12月13日掲載)
- 中山 勉：茶研究 最前線～県立大から～ 渋味は調節できるかー“くつつく”作用が深く関係ー(静岡新聞, 2012年1月12日掲載)
- 鈴木 隆：『研究室ナビ』流行の指標探り新薬開発めざす(朝日新聞, 2011年1月19日掲載)
- 渡辺達夫：茶研究 最前線～県立大から～ カテキンの受容体特定(静岡新聞, 2012年1月23日掲載)
- 鈴木 隆：人への感染、恐れ不要(静岡新聞, 2011年1月27日掲載)
- 鈴木 隆：インフルエンザについて解説するとともに、お茶の抗インフルエンザ作用とカテキンおよびストリクチニンの作用メカニズムについて解説(テレビ岩手「5ごきげんテレビ(生夕方ワイド)」, 2012年2月13日放送)
- 合田敏尚：茶研究 最前線～県立大から～ 糖尿病制御の新視点(静岡新聞, 2012年2月27日掲載)
- 伊勢村護：茶研究 最前線～県立大から～ がん抑制へのアプローチ(静岡新聞, 2012年3月5日掲載)